

はじめに

かつてはお気に入りだったのに、靴が汚れた、色があせてしまったなどで、履かなくなってしまった靴はございませんか？
 長年の靴製造の中で、“靴”、そして“革”を知り尽くしたパンチャがご提案するお手入れで、お気に入りの靴をもう一度美しく甦らせてみませんか？

お手入れ方法

お手入れ前に、シューレースを解き、シューキーパーを入れましょう。



スムースレザーのお手入れ

1 ホースヘアブラシでブラッシングして、靴についたホコリや汚れを掃ってください。アッパーとコバの隙間に入り込んだホコリも丁寧に落としてください。

この隙間にホコリがたまっています。

4 竹ブラシ、または布切れにパンチャオリジナル靴クリームを少量とり、靴全体に塗り広げていきます。

アッパーとコバの隙間にも、しっかり塗りこみましょう。

2 靴磨きクロス、もしくは不要になったTシャツの布切れなどに水を含ませ絞ったあと、靴の表面をまんべんなく水拭きします。泥汚れなどの水溶性の汚れは水拭きである程度落ちます。

部分的に行くとシミにもなる場合があるので全体的に行うのがコツです。

5 ブリistol(豚)ブラシを使って、余分なクリームを取り除きながら、靴全体にクリームをなじませ、栄養を与えてあげます。

3 レザーローションを乾いた布切れにとり、靴の表面を拭いてください。全体を均一な力で、表面をなでるように拭き取るのがコツです。靴によってはシミになる可能性があるため、目立たないところで一度お試しください。

革の通気性が悪くなったり、ひび割れしやすくなりますので、古いクリームは必ず落としましょう。

6 靴磨きクロス、またはグローブシャインで全体的に乾拭きをして、光沢を出します。

7 雨やホコリ、汚れを防止するために防水スプレーをかけておきます。シミにならないか、目立たないところで一度お試しください。

靴から20cmほど離して、円を描くように均一にスプレーしましょう。

スエード・ヌバックのお手入れ

1 スエードスポンジの黄色の部分で、ホコリや泥を取り去り、オレンジ色の部分で、表面についた落としにくい汚れを吸着します。

4 スエードスプレーを全体に噴きつけ、栄養を与えながら防水力をつけます。また、スエードスプレーには色あせを防止し発色させる成分が含まれています。

目立たないところで、シミにならないか試してからスプレーしましょう。

2 水を含ませた布切れで靴全体を水拭きしてください。

※①・②ともに、毛足が起きる方向にスポンジ・布切れを向け、ホコリをかきだすのがコツです。

5 最後に防水スプレーを噴きつければ、さらに防水力を高めることができます。

3 スポンジや水拭きでは落ちなかった頑固な汚れには、クリーニングラバーを使ってみましょう。

あまり強く当てずやさしくこするようにしましょう。

毎日のケア&保管方法

日常のお手入れ

1日中履いていた靴は、ホコリなどの汚れが革表面に付いてしまいます。脱いだときに靴ブラシで表面についたホコリを落としてください。

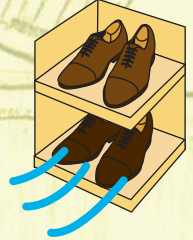


シューキーパーは適切なサイズのものを選びましょう。

保管方法

革靴は、履くことによってシワができ、放っておくと本来の形が崩れてしまいます。そのため、保管の際にはシューキーパーを入れることが大切です。

保管場所については、高温多湿を避けましょう。箱にしまったままの靴などは、ときどき風通しをすることによってカビの発生を防止することができます。



その他のお手入れ

雨の日のお手入れ

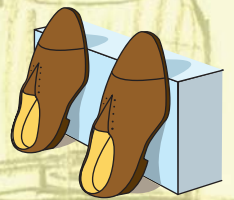
表面についた水分はクロスで吸い取り、中には丸めた新聞紙を入れます。(色移りなどが心配な場合は、使い古した靴下などに新聞紙を入れて行います)

30分ほど置いて中身を取り出し、その作業を2回ほど繰り返します。

通気性の確保のために新聞は抜き、カカトを下にして壁に立てかけ、しっかり乾燥させましょう。

乾燥させたあとは、クリームなどで栄養補給をしてあげることが大切です。

ドライヤーなどで急激に乾かすのはNG



エナメル革のお手入れ

エナメル革の靴は、表面を樹脂でコーティングしているため、スモース革とは手入れの方法が異なります。

専用クリーナーで汚れを落とし、拭き取ったあと、専用クリームを塗りましょう。柔らかい布で、余分なクリームを拭き取り、乾拭きをすれば完了です。

鏡面仕上げ

つま先や、かかと部分を磨きこみ、鏡面のような高光沢に仕上げられることを、鏡面仕上げと呼びます。

まず、別紙の「スモースレザーのお手入れ」を参考にしながら、通常のお手入れをします。

そして、布に軽く水をつけ、ワックスを少量とり、小さな円を描くように軽く磨きます。ワックスの滑りがなくなり、磨きが重くなってきたら、再度少量の水をつけ、磨いてください。

鏡面仕上げが出来上がるまで、この動作を繰り返し行ってください。



修理について

長く履いていると、当然底がすり減ったり、どこかがほつれてきたりしてくるものです。お手入れはもちろん、適切なタイミングで、修理をしながら履いていただくと、より長く、お気に入りの靴とお付き合いいただけます。

オールソール交換



ソールに穴が空き、中のコルクが見えていたり、指で押してみても浮いているように感じられたら、オールソール交換が必要です。大掛かりな修理になるため、穴が空く前に気付くことができると良いでしょう。

カカト交換



一番外側のゴムが、2~3mmほどになったら交換時です。それ以上磨耗し、積み上げ部分にまで達していたら、作業も大掛かりになるため、そうなる前に定期的にチェックをしましょう。

すべり革の補修 (かかとの裏)



かかとの裏の革のことをすべり革といいます。長く履いていると、劣化したり、磨耗して穴が空くことがあります。履き心地にも影響してきますので、早めに修理にしましょう。

ハーフソール補強



すり減ったソールの補強や、磨耗の防止、すべり止めなどのために、ハーフソールにゴムを取り付けることができます。また、レザーでの張替えも可能です。

つま先の交換



つま先がすり減ってきた場合、つま先だけの補強も可能です。革、またはラバーで補強できます。

ヒールの革巻き替え



ヒールの革が傷つき、めくれてしまった場合などは、革の巻き替えが可能です。

モカ縫いの補修



モカ縫い(U字型に施された革の縫製)のほつれなども補修が可能です。

ファスナー交換



ブーツなどのファスナーが壊れてしまった場合交換が可能です。また、ゴムの交換も可能です。

中敷の交換



中敷が劣化したり、汚れてしまった場合、交換が可能です。

...その他の修理もお気軽にご相談ください。

Pancia
おすすめ

シューケアグッズ

シュークリーム

鮮やかな光沢が得られるワックスを配合し、高い皮革効果を発揮する乳化性靴クリーム。



プロテクター

水分や油分、汚れやホコリの浸入を防止し、高い撥水効果を発揮するスプレー。



デリケートクリーム

水、油、蝋が配合されている、水分が主体のクリームです。デリケートな革や、革靴以外にも、バッグやお財布などのお手入れに使用できます。



レザーローション

皮革表面に付いたほこりホコリなどの汚れ、また皮革に入り込んだ古いクリームを落とし、皮革をリフレッシュさせ、クリームの力を良くします。



クリーニングラバー

起毛革のしつこい汚れを吸着し、落とします。



お手入れクロス

クリームの塗布、仕上げの乾拭きなど、幅広くご使用できるクロスです。



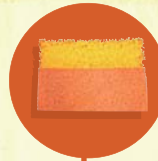
ホースヘアブラシ

皮革を痛めることなく、確実にホコリや汚れを落とすことができる馬毛のブラシ。



スエードスポンジ

2種類のスポンジを使用し、起毛革のホコリやドロ、汚れなどを落とします。



シュートウリー

靴の型崩れを防止し、靴を正常の形で保管することができます。さらに、除湿、脱臭の効果もあります。



ブリストルブラシ

クリームを靴全体に広げたり、馴染ませるのに最適な豚毛のブラシです。



スエードカラー

起毛革の、細かい繊維に浸透し、しなやかさと耐水性を与えるスプレーです。起毛革の色彩を鮮明に保ちます。

